

## 令和3年度 第3回 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 会議録概要版

開催日時 令和3年4月28日(水)午後2時から午後3時40分まで

開催会場 渋川市役所第二庁舎202階議室

出席者 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 委員8名  
欠席委員 塩谷委員・和田委員・登坂委員・浅野委員  
事務局 12名

1 開 会 進行：総務経営課総務企画係 堀口

2 委嘱状交付 星野委員、根岸委員

3 挨拶 渋川市長 高木 勉

4 自己紹介

5 議 題 議事進行：阿部会長

(1) 渋川市の水道事業の概要と今後の見通しについて(資料1)

(2) 経費の縮減について(資料2)

(3) 簡易水道事業等の経過と今後の課題について(資料3)

説明：儘田総務経営課長から次第、資料について説明

\* 出席委員から、有収率、再生可能エネルギーの活用等について意見、質疑。

\* 各質疑等について事務局から回答した。

(4) 協議会の意見を踏まえた水道料金の改定(案)について

(資料4)

説明：儘田総務経営課長、総務企画係堀口から次第、資料について説明

\* 出席委員から、持続可能な運営、料金改定の時期等について意見、質疑。

\* 各質疑等について事務局から回答した。

( 5 ) その他

\* 次回協議会を7月下旬から8月上旬に開催したい。

6 その他

7 閉 会 総務経営課総務企画係 堀口

- 議題（１）渋川市の水道事業の概要と今後の見通しについて  
 （２）経費の縮減について  
 （３）簡易水道事業等の経過と今後の課題について

事務局	次第、資料に基づいて説明
委員	資料１の２ページの渋川市の有収率の現状で、県内１１市よりも大幅に低くなっている理由はどうしてですか。
事務局	管路が長いことと、漏水が主な原因と思われます。
委員	経費の縮減で、再生可能エネルギーを活用した縮減を検討はされているのでしょうか。
事務局	小水力発電を、一時検討したことがあります。しかし、設備投資に対して電力量のあがりが少ないということで、断念したという経緯があります。今後、太陽光パネル等の検討を随時していきたいと考えております。
委員	資料２の民間活力等の導入について、未収金額の縮減額に比べ委託費用が高い感じがします。
事務局	料金徴収の業務委託につきまして、未収金のデータは平成２１年度までしか残っていなかったもので、この値となっています。両毛ＢＳの委託は、平成１５年度から行っていますが、その時点での未収金は多額であり、平成２１年度までにかかなりの額が減っています。窓口業務も平成２１年度から委託しています。
事務局	市の職員だと効率が良くなかった部分がありました。それを専門にやっていただくことで、メリットがあると思っています。

	未収金を回収できるのも一つですし、窓口のサービスといった金額に現れないものがあります。現状窓口14名、専門で回っている方が21名いますが、金額的に一人あたりで見れば、市の職員にあてはめると相当抑えられていると思います。
委員	有収率で、渋川市の今後の目標値はあるのでしょうか。また、指標があるとすれば、老朽化施設の解体でかなりの金額がかかるとはと思いますが、どれくらいを見込んでいるのでしょうか。
事務局	目標値としては、当面80パーセントを目指しています。 毎年25億円くらいかけてやっていかないとはいないのですが、現在は数億円しかできていないのが現状です。
委員	資料3ページの、簡易水道組合をこれから統合する場合にあたって、2組合に対して条件等がありますか。
事務局	現状は組合の資金の中で管を更新したりしていますが、資金に乏しく自分たちでやっていけないので、市水への統合を要望しているのが現状です。可能な限り組合内での工事を、やれることはやった形であれば受ける等の条件は出しています。
委員	簡易水道の料金格差が大きいと思われませんが、つないだ時点で同一料金になるということによろしいですか。
事務局	お見込みのとおりです。
委員	市町村合併によって、給水施設は分散したものをお持ちになっている状況があるのでしょうか。
事務局	独自でかなりの施設数を保有しています。統廃合をした方が、

	<p>渋川市にとって有利になるのではとシミュレーションはしています。実際に、群馬県との協議もございますので、簡単にはいかないですが継続して要望をしているところです。</p>
委員	<p>高崎市も合併していますが、負担がだいぶ違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>高崎市と比べると、旧簡易水道であった地区の人口比率が違うので、影響が大きいのかと思います。</p>

#### 議題（４）協議会の意見を踏まえた水道料金の改定（案）について

事務局	<p>次第、資料に基づいて説明 改定案を次第、資料に基づいて説明</p>
委員	<p>事前資料等を見させていただいて、持続可能な運営を考えなくてはいけないと感じます。</p>
事務局	<p>資料１の１１ページ中央部の令和３年度のところで、内部留保資金３億２６００万円を想定しています。料金改定を行いますと、令和３年度から令和４年度にかけて、４億６２００万円となっております。増額幅で見ますと１億３６００万円となっておりますので、料金改定シミュレーションＡ案の１億３９００万円の増額改定が突合してくる数字と考えます。</p>
委員	<p>このプランの前提条件は、人口、使用料をどんな前提で計算されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>人口につきましては、平成３０年時点の社会保障人口問題研究所の人口推移を参考にしております。そのほか経営に関する指標につきましては、過去１０年間の推移等見込みまして、こ</p>

	こちらの経営指標等の数字を出させていただいています。
委員	令和4年度に料金改定され、改定案4でよろしいでしょうか。
事務局	大元となる案の一つと、理解していただければと思います。
委員	老朽化した施設の将来の更新整備と、使用変動等のリスクに対応するための積立金等の制度なども、検討してみてもよろしいのではないかと思います。
事務局	検討させていただければと思います。
委員	市民への説明、同意を得るということで、ただ経営が厳しいので値上げせざるをえないではなく、ここまで緻密なシミュレーションがあって、いろんな検討をして、これまでの協議会で様々な人の意見を聞いて、これが最良で必要な経費なんです、と市民の方にうまく伝わればと思います。
事務局	おっしゃるとおりだと思います。
委員	私は企業代表として出席させていただいてるのですが、以前の会議の中でお伝えしたとおり、4社の中では同額のシミュレーションをしてみると、400～500万の年間のコスト増になる企業もございます。コロナ禍ということもあり、経営状況がよろしくない企業もございますので、改定の時期は慎重に審議していただきたいと思います。
事務局	渋川市としても、財政のシミュレーションをとおして、できる限り急な値上げにならないような形をとりたいと思っています。ただし、安定した水を供給するには何年かに一度は改定が

	<p>必要ですので、そのようにやっていければと思います。</p> <p>時期については、12月の定例会で諮りたいと話を進めていますが、コロナの状況等によっては大変な状況が想定されますので、状況を見ながら市長や議会とも相談をしながら、値上げの時期は決めていきたいと思います。実際に料金改定するにしても、皆さんに周知する期間というのも当然必要になりますので、料金改定する半年ぐらい前にはお知らせできるように考えています。</p>
委員	<p>東京電力の件ですけれども、以前の会議でも意見を申しあげさせていただいたのですが、渋川市はまだ随意契約でやっているとのことで、ほかに方法があるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今回11市の状況を調査させていただきました。資料2の参考2でございますけど、新電力を使って経費節減を図ってる市も確認できますので、渋川市も検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>このままの経営状況が続けば、「最悪水の供給ができなくなりますよ。」というリスクが存在しているところを見せながら、議会への説明等としていくのも重要なのかと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりだと思います。資料にして何らかの形でお知らせし、それを周知する中で料金改定を行わせていただきます、というような形に持って行ければと思っています。</p>

## 議題（5） その他

事務局	<p>次回の日程ですが、7月の下旬から8月の上旬頃を開催させていただければと思います。</p>
-----	-------------------------------------------------